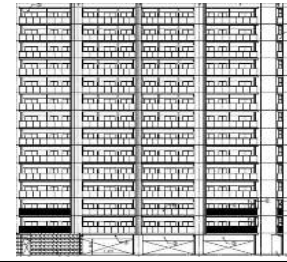


CASBEE® 名古屋

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE 評価マニュアル(2019年版、4.0版) ■使用評価ソフト: CASBEE_Nagoya_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)サムテイ名古屋市北区上飯田北町1丁目 新築工事	階数	14
建設地	愛知県名古屋市中区上飯田北町一丁目81番1	構造	RC造
用途地域	準防火地域	平均居住人員	200 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年3月 竣工	評価の実施日	2022年9月25日
敷地面積	915 m ²	作成者	
建築面積	420 m ²	確認日	2022年9月28日
延床面積	4,305 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

= BEE1.1

★: S:★★★★★ A:★★★★ B+:★★★ B:★★ C

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

☆☆☆ 100%超:☆☆☆ 100%:☆☆☆ 80%:☆☆☆☆ 60%:30%

標準計算

①参照値	9
②建築物の取組み	7
③上記+②以外のオンサイト手法	7
④上記+オフサイト手法	9
合計	7

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比したライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.1

Q1 室内環境

Q1のスコア=3.5

Q2 サービス性能

Q2のスコア=3.1

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア=2.7

LR のスコア = 3.1

LR1 エネルギー

LR1のスコア=3.3

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア=3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア=3.0

3 設計上の配慮事項		
総合 特になし	その他 特になし	
Q1 室内環境 遮音性の高い開口部を使用。 ほぼ全面的にF☆☆☆☆を採用。	Q2 サービス性能 耐用年数が高い材料を使用している。	Q3 室外環境(敷地内) 特になし
LR1 エネルギー 断熱性能の高い材料を使用している。	LR2 資源・マテリアル ハロン消火剤を使用せず、地球温暖化に配慮している。	LR3 敷地外環境 屋上広告を一切なくし、公害対策に配慮している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される
 ■LCO₂の算定条件等については、「LCO₂算定条件シート」を参照されたい

CASBEE® 名古屋

| 評価結果 |

重点項目スコア・結果シート

(仮称)サムティ名古屋市北区上飯田北町1丁目 新築工事

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版、名古屋市建築物環境配慮制度運用マニュアル
 ■評価ソフト: CASBEE_Nagoya_2016(v3.0)

重点項目	評価	全体に対する 重み係数	重点項目 スコア
1. 温暖化対策			3.2
LR1 エネルギー	3.3	0.4	
LR3.1 地球温暖化への配慮	3.1	0.1	
LR3.2.2 温熱環境悪化の改善	3.0	0.05	
2. 自然共生			2.3
Q3.1 生物環境の保全と創出	2.0	0.09	
Q3.3.1 地域性への配慮、快適性の向上	無	0.009	
Q3.2 まちなみ・景観への配慮			
Q3.3.2 敷地内温熱環境の向上	3.0	0.045	
3. 循環型社会			3.0
LR2.1 水資源保護	3.0	0.06	
LR2.2 非再生性資源の使用量削減	3.1	0.18	
LR3.2.3 地域インフラへの負荷抑制 ※2	2.7	0.01875	

結果

1. 温暖化対策

評価点 = 3.2



2. 自然共生

評価点 = 2.3



3. 循環型社会

評価点 = 3.0



重点項目のスコアは以下のように算出している。

$$\text{重点項目スコア} = \frac{(\text{評価点} \times \text{全体に対する重み}) \text{の総和}}{\text{全体に対する重みの総和}}$$

※1 ここでは、Q3. 3. 1の評価する取組みのうち評価項目 1) 地域性のある材料の使用 又は、Q3. 2)において評価する取組みのうち評価項目 4) 地域性のある素材による良好な景観形成 のいずれかでポイントがある場合は「有」、ない場合は「無」を評価とした。重点項目スコアの算出における評価点は評価「有」の場合は5、「無」の場合は1とし、重みはQ3. 3. 1の全体に対する重みに0.2を乗じたものとしている。

※2 ここでは、LR3. 2. 3のうち、LR3. 2. 3. 3 交通負荷抑制 を除いたもので評価点及び全体に対する重み係数を算出している。したがって、ここでの評価点はスコアシートにおけるLR3. 2. 3の評価点とは異なるものである。